

ドキュま!

山形国際ドキュメンタリー映画祭
情報マガジン



昭和40年ごろの山形市 (7.10 金曜上映会「建設のやまがた」)

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー
金曜上映会

ドキュ山ユース メンバー募集

[予告] YIDFF 2027 プレ・イベント
東アジアの妖怪ものがたり～境界からの声(仮)

[予告] やまがたアーティスト・イン・レジデンス
イ・ジユン監督上映会+ワークショップ

やまがた創造都市国際会議2026
山形とカンヌ 報告パネル展 ほか

www.yidff.jp

2026

Jun.

Jul.

ドキュ山 ユース

いろいろな上映会やイベントを
企画してみよう。メンバー募集中!

X @Docuyama_youth



ドキュ山コースとは山形国際ドキュメンタリー映画祭の高校生チームです。学校、学年、部活や趣味も様々なメンバーが集まり、山形の映画文化やドキュメンタリー映画の魅力を伝えるべく活動しています。

映画祭会期外は、学校内でのドキュメンタリー映画の上映会や、海外からゲストを招いたイベントを開催。会期中は、上映監督へのインタビューや、県内外から集う観客との交流イベントの主催、表彰式プレゼンター、会場ボランティアをおこなってきました。

映画好きの方、新しいことを始めたい方、ワクワクしたい方、「ドキュ山コース」としてYIDFFと一緒に盛り上げていきましょう!

ドキュ山ユース YIDFF 2025 監督インタビュー

公式ブログ「ドキュ山ライブ!」に掲載!!

『ハワの手習い』ナジーバ・ヌーリ監督

▶ www.yidff-live.info/4895/

『最後の訪問』

ケワリー・ワルッコメーン監督 &
ワートファン・ディロックサンパンさん

▶ www.yidff-live.info/4889/



ドキュ山ライブ! は、ドキュ山コースによる監督インタビュー、フィルムライブラリー貸出作品の紹介、ヤマガタ映画批評ワークショップによる映画批評などを掲載しています。



山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 金曜上映会

〈プライド月間特集

—戦争とセグシャリティ、父と息子—

6.12
金 Fri

▶ 14:00, 19:00 (2回上映)

プライベート・ウォーズ

YIDFF '97 インターナショナル・
コンペティション 市民賞

監督: ニック・ディオカンポ/フィリピン/1996/16mm/67分



▶ 15:30 (1回上映)

このささいな父の存在

YIDFF 2017 アジア千波万波

監督: サリーム・ムラード/レバノン/2016/103分



LGBTQ+ (多様な性のあり方を持つ性的少数者) のコミュニティを祝福し、差別や偏見のない、公正で平等な社会を目指すために設けられた「プライド月間」に合わせて2作品を上映する。

日本占領下に抗日運動に身を捧げ、戦後家族を捨てて行方不明になった自分の父の存在を問いたずね、ゲイである自己との関わりを、再現ドラマを交えて描く『プライベート・ウォーズ』。父親を捜しながら、同時に祖国フィリピンの歴史を振り返る。個人的な話と政治的な話の間を行ったり来たりしながら、不在の父親を描くという大きな仕事に取り組む。

レバノン内戦を生き残った監督の祖父が建てた家が、取り壊されることになるが、一人息子である監督はゲイで、ムラード家の血筋は彼で止まってしまう。そこで、縁が切れていた父の弟を訪ねるのだが……。家も家系も引き継げない監督が、自らの居場所を探すため、父を、家族を、伝統や宗教に縛られた家父長制を、耽美とユーモアで挑発するオートフィクション・ドキュメンタリー『このささいな父の存在』。

認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭が主催する定期上映会です。

会場: 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 試写室

山形市平久保 100 山形国際交流プラザ(ビッグウイング) 3階

鑑賞会員無料 (当日受付にてご入会ください)

会費・入会金不要 (本法人「正会員・賛助会員」制度とは別です)。

7.10
金 Fri

〈やまがた市民映画学校:

懐かしいやまがた再発見 2026〉

共催: 山形市創造都市推進協議会

▶ 14:00, 19:00 (5作品2回上映)

山形市広報ニュース No.7 1962/モノクロ/11分

笹谷トンネル 1960頃/カラー/12分

開けゆく峠路 1964/モノクロ/16分

広報映画シリーズ No.8

建設のやまがた 1965頃/カラー/15分

広報映画シリーズ No.10 明日の山形をきづく

1970/カラー/14分

※すべてデジタル上映(原版16mm)です。

山形市が制作した広報フィルムをデジタル化して収録、公開している山形市デジタルライブラリー(ウラ面参照)より。

『広報ニュース No.7』は、昭和37年に開通した山形と宮城を結ぶエコーライン、蔵王ロープウェイ、下水道建設などを紹介する。

太平洋と日本海を結ぶ交易路、「夢のようなドライブ・コース」を思い描く『笹谷トンネル』と、険しい笹谷峠とともに生きてきた山形市開沢の集落の人々の声を集める『開けゆく峠路』。

デラックスな県民会館、モダンな美術博物館、児童文化センターなどの文化施設や、県体育館、ボウリング場、プール、スケート場、蔵王ゴルフ場、蔵王ゲレンデなどのスポーツ施設。山形市のインフラ整備や建設事業を紹介する『建設のやまがた』。

山形駅ロータリー、七日町、駅前通り、中心市街地の買い物広場構想など、山形市の都市再開発を紹介する『明日の山形をきづく』。



予告

山形国際ドキュメンタリー映画祭2027 プレ・イベント 東アジアの妖怪ものがたり 境界からの声(仮)

妊娠した木とトッケビ

監督:キム・ドンリョン、パク・ギョンテ/韓国/2019/115分

廃墟と化しつつある、米軍基地村の歓楽街に住み続けるパク・インソンさん。一時的に暮らしたアメリカ生活で失った娘を探しながら、記憶と語りが現実と虚構を行き来する。YIDFF 2013 インターナショナル・コンペティション 特別賞『蜘蛛の地』監督による作品。

日本妖怪伝サトリ

監督:東陽一/製作:高木隆太郎/撮影:田村正毅

出演:緑魔子、河原崎次郎、山谷初男、小川紳介/日本/1973/100分

人の思うことを次々と言いあて、思うことがなくなると食べてしまう妖怪サトリが現代に現われた。高度成長真只中のアップテンポの社会。人びとの心に潜む疑心暗鬼はサトリにどう映ったのかを問いかける意欲作。

炭鉱奇譚

YIDFF 2025 アジア千波万波 東北電化工業賞(奨励賞)

監督:宋承穎(ソン・ジョンイン)、胡清雅(フー・チンヤ) /台湾/2024/30分

炭鉱で栄えた村、侯硐(ホウトン)。当時を知る年長者たちの経験した怪異を語る声を集める。物語が、あわいに落ちる暗い歴史の影に輪郭をつけていく。

8月1日[土] 山形市民会館小ホール
ゲスト・トークも予定しています。
詳細は... www.yidff.jp/news/26/260622.html

カンヌ国際映画祭 マレシェ・デュ・フィルムに参加!



5月、カンヌ国際映画祭と併せて開催された世界最大級の映画見本市「マルシェ・デュ・フィルム(Marché du Film)」に、ドキュメンタリー部門に当たる「カンヌ・ドックス(Cannes Docs)」のパートナーフェスティバルとして山形国際ドキュメンタリー映画祭が参加しました。

5月14日、日本パビリオンにおいて、山形市創造都市推進協議会、山形市、当映画祭と、フランス・カンヌ市の共催で、山形市の映画文化やその魅力を世界にPRする「やまがた創造都市国際会議2026」が開催されました。

新作『急に具合が悪くなる』が正式出品(岡本多緒さんとヴィルジニー・エフィラさんが女優賞受賞)された映画監督の濱口竜介さん(YIDFF 2011で『なみのおと』、YIDFF 2013で『なみのこえ』『うたうひと』を上映)、今年2月に「やまがたアーティスト・イン・レジデンス」に参加し、山形に滞在した映画プロデューサーのマリーナ・グムジさん、カンヌ市文化局ディレクターのモド・ボワサックさん、当映画祭理事の阿部宏慈が登場し、プレゼンテーションやディスカッションが行われました。さらに今年2・3月に山形市で新作を撮影した映画監督の三宅唱さん(YIDFF 2015で『THE COCKPIT』を上映)からのビデオメッセージで撮影地としての山形の魅力が大いにアピールされました。

また、当映画祭副理事長の藤岡朝子は、ドキュメンタリー企画のショーケース「Docs-in-Progress」の審査員を務めました。

やまがた創造都市国際会議 2026
映画の活力 都市の活力
ユネスコ創造都市 山形とカンヌ
== 報告パネル展 ==



6月2日[火]—30日[火] 9:00—17:00 ※月曜休館
やまがたクリエイティブシティセンター Q1 地下プロジェクトスペース

やまがた アーティスト・イン・レジデンス

山形国際ドキュメンタリー映画祭2025 アジア千波万波で上映され、山形新聞・山形放送賞(奨励賞)を受賞した『木々が揺れ、心騒ぐ』のイ・ジュン監督が、創作活動のため7月22日[水]~8月10日[月]に山形に滞在します。滞在中に上映会+ワークショップを予定しています。

8月9日[日] やまがたクリエイティブシティセンター Q1
上映:『木々が揺れ、心騒ぐ』監督:イ・ジュン/韓国/2025/40分
+ワークショップ「山を創作する」

詳細は www.yidff.jp/news/26/260612.html

山形市デジタルライブラリー

これまでに、山形創造都市推進協議会、山形市、山形国際ドキュメンタリー映画祭、ヨコシネD.I.A.出張!フィルムアーカイブなどがデジタル化した40作品が山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー▶のビデオブースで無料でご覧いただけます。所蔵作品の一部を7月10日の金曜上映会で上映します(オモテ面参照)。

山形市創造都市推進協議会 事務局
山形市旅籠町 2-3-25 山形市文化スポーツ部文化創造都市課内
Eメール: creative-yamagata@city.yamagata-yamagata.lg.jp
電話: 023-641-1212 (内線 769)

Yamagata City of Film
ユネスコ創造都市やまがた
www.creative-yamagata.jp

@FilmYamagata

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

これまでに山形国際ドキュメンタリー映画祭に応募された20,000本以上の作品、311ドキュメンタリーフィルム・アーカイブ、山形市広報フィルムのデジタルライブラリーの作品を視聴することができます。また、金曜上映会や、子どもの映画教室を開催し、幅広い世代が映画に触れる機会を設けています。国内の非営利上映向けに作品の貸出も行っています。▶www.yidff.jp/library/loans/

- 山形市平久保100 山形ビッグウイング 3F
- 開館時間: 10:00-17:00
- 休館日: 月・火曜、年末年始
- 臨時休館はWebサイトでお知らせします。
- 電話: 023-635-3015

311ドキュメンタリーフィルムアーカイブ
www.yidff311docs.jp

東日本大震災の記録映画とその作品資料を蒐集・保存し、作品情報を世界に発信するプロジェクトです。登録作品は山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー内でご視聴いただけます。

(((山形国際ドキュメンタリー映画祭情報発信中)))

Webサイト▶ www.yidff.jp
ブログ「ドキュ山ライブ!」▶ www.yidff-live.info
 @yidff_8989 @yidff

メールマガジン「YIDFF ニュース」(毎月1回配信)
www.yidff.jp/news/subscription

コミュニティ FM ラジオモンスター 76.2MHz 『モンブラン』内

次号発行は 8月1日

編集・発行: 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
〒990-0044 山形市木の実町9-52 木の実マンション201
電話: 023-666-4480 FAX: 023-625-4550
Eメール: info@yidff.jp ウェブサイト: www.yidff.jp
印刷: 大場印刷株式会社